



化学療法室ご案内

～入院治療の患者さんへ～



地域医療支援病院

社会医療法人 鴻仁会 岡山中央病院



化学療法室のご案内

- 『化学療法室』は、入院病棟のある本館横の『放射線ガン治療センター』の2階にあります。
- この化学療法室は、がんの治療を受けられている患者さん専用の治療フロアです。
- スタッフは、がん化学療法看護認定看護師を中心に専任のスタッフを設け、主治医と連携をとりながら、よりよい治療を提供できるように関わらせていただいています。専任スタッフが従事しているため、治療を受けられている期間を通じて、継続的に関わることができます。
- 入院病棟のスタッフとも連携をとりながら、入院治療期間のみでなく、患者さんひとりひとりの日常生活を考えながら、各職種でサポートさせていただきますので、気になること、お困り事などは何でもご相談ください。

- 化学療法室のフロアは、すべての空間において、治療を受けられる患者さんのことを徹底的に考え作りしました。
- 治療室の中央にはオープンカウンターのスタッフステーションとガラス張りの薬剤調整室を設け、『快適かつ効率性が高く、安全で確実な治療が行える空間』をコンセプトにしています。



がん治療センター案内



本館とつながっている
渡り廊下です。

1階は放射線治療室です。
1階：図書・情報コーナー
自動販売機（売店は本館のみです）

2階 化学療法室



2階が化学療法室です。

2階：家族待合室 パウダールーム もあります。

ご自由にお使いください。

化学療法室の環境



治療スペースは、
リクライニングシートと
ベッドの2種類があります。

治療中はリラックスして過ご
していただけるよう、
開放的で明るい空間をご用意
しております。



当治療室は、「外来化学療法
加算」の認定を受けている施
設で、外来通院治療を受けら
れている患者さんも利用され
ます。



無菌調製室で薬剤師
が治療薬を準備しま
す。

医師の指示通りの薬
剤を確実に準備する
ため、2名での
チェック体制をとっ
ています。

治療中の準備物品について

- イヤホン（テレビ視聴をご希望の方）
- 飲み物・軽食



昼食を治療室で食べられるご希望がある場合はお持ちできます。

冷蔵保存ご希望の飲食物をご持参の方はスタッフにお申し出ください

- 服用中のお薬（昼食を食べられる方）
- 化学療法前のお薬（医師から処方された方のみ）
- 自己管理日記帳
- その他 ご自分が必要と思われるもの
（本や雑誌、音楽を聴くためのものなど）

- 服装は自由です。ただし、点滴をするので袖にゆとりがあるものが楽だと思います。

治療中の過ごし方について

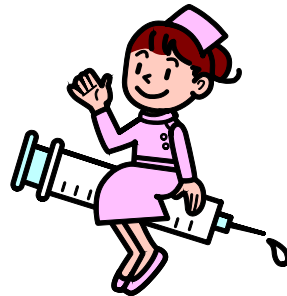
- 抗がん剤投与中は、化学療法室内でお過ごしください。
- ベッドとリクライニングチェアがあります。ご希望がある場合はスタッフにお伝えください。患者さんの人数の状況で、ご希望に添えない場合もありますので予めご了承ください。
- 点滴をしても動くことはできますので、お手洗いへもご自由に行くことができます。
- 化学療法室で点滴を受けている時間は、リラックスして過ごしていただきたいと思います。ご自分が必要と思うもの（本、音楽を聴くためのものなど）をご準備いただくのも一つの方法だと思います。テレビもありますのでご利用ください。

- ご家族が付き添っておられる場合、ベッドサイドでお待ちいただいても構いません。がんセンター内には家族控室、1階図書・情報コーナーもございますのでご利用ください。
- 治療中の貴重品管理はご自身でお願いいたします。貴重品入れのロッカーを設置していますのでご自由にお使いください。
- 携帯電話のご使用は、マナーモードへの切替えと、他の患者さんへのご配慮をお願いいたします。
- 副作用症状に対するパンフレットの設置もしていますので、お気軽にスタッフに声をかけてください。



急性の副作用について (アレルギー・血管外漏出)

- 『何かおかしいな?』と感じた時には、すぐにナースコールでお知らせください。
- アレルギーや血管外漏出は早期の迅速な処置が大切です。軽い症状と感じてもその後に重篤化することもありますので、我慢されずにお知らせください。

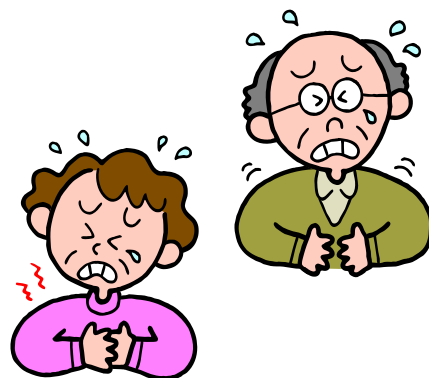


- 針が挿入されている部分はできるだけ安静に保ってください。
- トイレ等の移動の後は針の入っている部分に問題がないか確認しますので、スタッフを呼んでください。

副作用の兆候

■ アレルギーの兆候

胸苦しさ・息苦しさがある、脈が早くなる、くしゃみがでる、咳がでる、痒くなる、蕁麻疹がでる、目が充血する、ムカムカする、お腹が痛くなる、唇・手先・足先がしびれる、耳鳴りがする、めまいがする、冷や汗がでる、熱感がある など



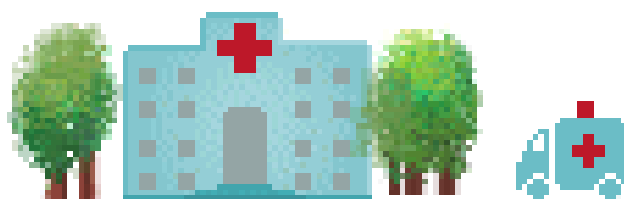
■ 血管外漏出の兆候

点滴の針が浮いている、固定がはずれている、はずれかけている、点滴の針が入っている所が痛い・赤い・腫れている・違和感がある
点滴の速度が遅い など

治療後の生活について

- 水分はいつもより多めにとりましょう。
- 排泄物内にも抗がん剤は含まれます。特に治療後2日間は、トイレは確実に流しましょう。
(共有トイレは2度流しをお願いします)
- 食欲がない時は、無理に食べなくても大丈夫です。また、ご自分が食べやすいものをご希望に合わせておとりください。
- 体調にお変わりがなければ、普段通りの生活をしていただいても構いません。
- 生活に関するご相談は化学療法室のスタッフ・病棟スタッフがお受けいたしますが、地域支援相談室（医療安全相談室）にて医療ソーシャルワーカーもご相談をお受けいたします。

- 化学療法による副作用のほとんどは、一時的なものです。しかし、我慢や無理をすると症状を悪化させることがありますので入院中も我慢されずにお伝えください。退院後も早めの相談をお願いします。
- 退院後、遠方で近医のかかりつけ病院を受診される場合は、化学療法中であることを申し出てください。
- 退院後、インフルエンザや感染性胃腸炎など感染症にかかれた場合は、速やかに外来化学療法室へご連絡ください。



電話相談について

- 治療を受けられた方やご家族が安心して退院後もご自宅で過ごしていただけるように、看護師が電話相談の対応をさせていただきます。
- 退院後、以下の症状がみられる場合はお早めにご相談ください。
 - 38℃以上の発熱が続く
 - 激しい吐き気・嘔吐があり、24時間何も食べられない
 - 1日5回以上の下痢
 - 尿の量が減った
 - 出血が止まらない
 - 口内炎の痛みで食事が食べられない
 - 日常生活に必要な活動ができない
 - 点滴をした部位の激しい痛み・腫れ
 - その他

自分では判断できない症状や

自宅で様子を見るか受診をするか迷ったとき

連絡方法について

- 岡山中央病院代表電話番号におかけください。

086-252-3221

- 平日の8時30分～17時
 - 化学療法室スタッフ
- 土・日・祝・時間外（17時～翌8時30分）
 - 救急外来スタッフ

が対応させていただきます。

- 「抗がん剤治療を受けている〇〇です。」とお伝えください。



【電話相談時連絡先】

086-252-3221

(岡山中央病院代表番号)

